

発行日 平成29年8月1日

★ 福まちだより ★

ふれあい東月寒

【第28号】

発行 東月寒地区
福祉のまち推進センター

発行部数 8,100部

札幌市豊平区月寒東3条17丁目
東月寒まちづくりセンター内
Tel/Fax (011) 853-2913

福祉のまち活動20年間の歩み

福まち推進センターは本年20年目を経緯します。地域で先人の方々が将来のことを見越し、高齢化社会対策として、福祉のまち活動の基礎を設定されたことに心から敬意を表するものであります。

平成9年10月、東月寒地区に「福祉のまち推進センター」が設置されました。少子高齢化社会の進展に伴い、一人暮らしの高齢者、高齢世帯の増加で、当面は一人暮らしのお年寄りの安否確認や暮らしの相談事や精神的な話し相手、冬季期間除雪奉仕活動を主な事業として取り組み、安心して生活を営んでいただくという趣旨で設定することとしたものであります。

活動の基本的な方針として、ボランティアの方々を福祉推進員と称し、地域の方々に協力を呼びかけました。推進員のメンバーについては、各町内会連合会（以下町連という）の役員、単位町内会の役員、民生委員・児童委員協議会（以下民児協という）の委員、各種団体の役員、等々の方々に構成しました。

東月寒地区で行う具体的な活動内容としては、安否確認・ふれあい訪問（話し相手）・除雪活動を重点に行い、将来的な課題として、交流会や対象者の方々が希望するサービスを集約し、可能な限り実現に向けて努力するものとししました。

又、推進員の任期・活動の対象者・行動の基準・行動するに当たっての心構え・推進員の身分・組織について、会議はブロック会議・全体会議・民児協との関係・事務局体制について・研修会について、数々の取り決めを定め、平成9年10月4日、東月寒白樺会館において東月寒地区福祉のまち推進センターの発足式が盛大に開催されました。

東月寒地区福祉のまち推進センター機構図

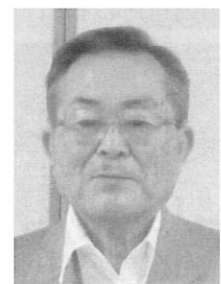
運営委員会	運営委員長	運営副委員長	
	事務局長	総務部長	副 2名
		会計部長	副 1名
		ふれあい事業部長	副 5名
		除雪事業部長	副 2名

当初推進員は94名、対象者は80名と記録には記されております。平成10年食事会が実施されました。地域には地球クラブという団体があり有志の方々がそば畑を耕作され、収穫されたそばを福まちに提供していただき、お食事会となりました。お食事会開催費用として、赤い羽根共同募金の助成があったのかと推測されます。

東月寒地区の福まち活動は、実務する運営委員会も、サービスを受ける対象者の方も全てが初めての体験であり、戸惑い乍ら各自懸命に対処されておりました。

平成10年以降については、次回第29号で掲載させていただきます。

東月寒地区社会福祉協議会
会長 飯島 弘光



福まち全体会議を終えて



去る5月16日(火)東月寒地区センターに於いて福まち全体会議が開催されました。

この会議は福まちの活動を担っているスタッフ全員が一堂に会する総会に当たります。

会議には日頃福まち活動の推進にご協力いただいている町内会連合会、社会福祉協議会、まちづくりセンター、豊平区保健福祉課、地域包括支援センター、介護予防センター様にご出席いただき励ましの辞をいただきました。

議事は例年通り前年度の事業実績・決算、今年度の事業計画・予算について福まち運営委員長より報告がなされました。

続いて研究・講習会が行われ、豊平区社会福祉協議会の高谷次長より「個人情報保護法改正と福まち活動について」と題し、お話をいただきました。

日頃、高齢者・乳幼児に関する個人情報に接する機会が多い我々にとっては、場合によっては刑事罰を科せられるかもと不安を抱く事もありました。

しかし、コピー・閲覧・部外者との噂話等、非常識な行動を取らない限り従来通りに活動出来る事を知り安心させられました。ありがとうございました。



中央：講師 高谷様

事務局長 佐々木 俊明

円山動物園見学について〈閉じこもり予防対策のひとつ〉

平成29年6月7日10時、しらかばの杜に福祉推進員が対象者と同伴して集合しました。

しらかばの杜介護予防センター職員より健康対策等のお話等の後、しらかばの杜のバスに乗り10時30分出発し、動物園見学における安全対策や動物園の状況等の説明をし気持ちをほぐしつつ、11時過ぎ円山動物園に着きました。

園内入り口に集合して、注意事項と最終時間ならびに休憩場所等の話をして見学開始となりました。

引率誘導する側として、迷子が一番心配どころでしたが、福祉推進員と対象者がそれぞれのグループで歩く姿を遠くでみると手をつないでいるように見られ、今日も成功に終わるなと感じました。

見学場所としては、たくさんの動物生活ゾーンがあり、休憩施設に近いオオカミ館があり、4頭のオオカミのうち静かに夜を待っているような姿もあれば、もっと自由な世界に行きたいと活発に動き回るオオカミも。お近くにいた対象者のつぶやきが印象に残りました。「私もこんな元気に動き回れる時もあったな～」ということでした。

途中休憩所で食事をとりました。しばらくぶりに食べたいなりずしが遠足気分もあったのが大変好評のようで段取りした人もホッとした様でした。休憩所には介護予防センターの職員が待機しており、万が一体調を崩す人がいれば大変なので心強い思いでした。

食事の後、見学に集まる様子を見てみると、サル園も結構人気スポットのようでした。

気温もそれほど高くなく、18度前後に推移し、園に比較的近く安心感もあったのでしょうか。少し坂道もあり見晴らしの良いところの白熊館、ここは一般入場者も多かったが一番の人気スポットの様でした。親子の白熊を見ていると時間を忘れるほどでしたが、特に女性は自分の若かった頃を思い出しているようでした。



2時間30分も終了に近づきましたが、2グループ程は福祉推進員に付き添われてぎりぎり帰ってくる様子もありましたが、楽しかったからと思い、引率者としては良かったなと感じました。予定時間にしらかばの杜に帰着し、今後も見守り活動の活発化の為に続けたいと思います。

第一ブロック長 佐藤 暢與



トモエ昆布しょうゆ 見学

第2ブロックでは去る6月14日、北海道醤油(株)の見学に行ってきました。参加者29名で、最初は会議室で工場の人に説明をしていただき、その後工場見学です。

事務所から工場に行く途中からお醤油の何ともいえない良い香り？がしてきました。皆で「うわあっ醤油の匂いだ!!」と言いながら工程を見学しました。やはり食品工場ですから、衛生面でよく管理されています。可愛い小ビンの醤油が思いの外沢山製造されているのにはビックリしました。見学が終わって出発時間までお土産コーナーがこれまた思いの外好評でした。



第二ブロック副長 友広 カヨ子



ミルクの郷 見学会

福祉のまち推進センターの事業で5月17日、ミルクの郷の見学会に参加しました。市内からバスで30分とも思われる所に長閑な田園風景が広がり、牛も3頭柵の中でのんびり反芻？仔牛は私達にご挨拶顔で近づいて来ました。その



昔「4日会」がサクラツを興した創立100年を記念して建てられた碑をみました。今、牛乳が潤沢に私達の許に届く豊かな暮らしに導いて下さった人々に思いが至りました。家では見えない世界に今日も出会えました。



第三ブロック 対象者 東 隆子



単町内会長懇談会

長年住んでいる町内会に少しでもお役に立てればと思い、昨年の12月から推進員になり、一人暮らしの見守りをしています。希望ヶ丘町内会で福まちに登録している人が約20人ですが、登録していない人が同じくらいいるのでちょっと驚きました。お話を聞いてみると、子供たちや兄弟が面倒をみているのでいいということでした。高齢化が進む中、推進員を2名位増やしたいのですが、なり手がいないと町内会長が言われていました。町内会役員・一人暮らしの人にも推進員になっていただけるよう色々アプローチをして、更に安全安心な住みよい町内にしたいと思っております。



第三ブロック 推進員 浅野 政則



ふれあい東月寒新年食事会に参加して



1月25日、ふれあい東月寒新年食事会に参加しました。

大道芸の「外郎売」はとても珍しく、古き良き時代に思いを馳せました。

唐草オジサンの演歌「チャンチャカチャン」はとても面白く、知っている歌が多いので楽しく歌いました。

お食事も美味しく、一人暮らしの寂しさを忘れて楽しいひと時を過ごさせていただきました。

有難うございました。



第四ブロック 対象者 吉田 重美



ふれあいキッズとともに



ふれあいキッズは今年15年目を迎えます。

「子育てサロンを始めるからちょっと手伝って!」と誘われて、第1回目から活動に参加しました。昨年度末で通算530回開催されました。お休みした日もありましたが、よく続いたなあと我ながら感心しています。



福まち活動では若いママさんと子ども達・むかし若かった推進員の皆さん・はつらつとした一人暮らしの皆さんから、いつも元気のパワーを頂きました。そして沢山の仲間とこの街で暮らす安心感を得られました。



ふれあいキッズでは、七夕・クリスマス・ひなまつり等の行事で季節を楽しみ、また健康フェアでは身体や生活を考える良い機会となりました。「ちょっとお手伝い」をしながら有意義な時間を体験できました。

皆様、「福まち活動」に参加してみませんか!

7月6日「ママの背比べと七夕」

子育て支援交流事業部 山脇 敦子